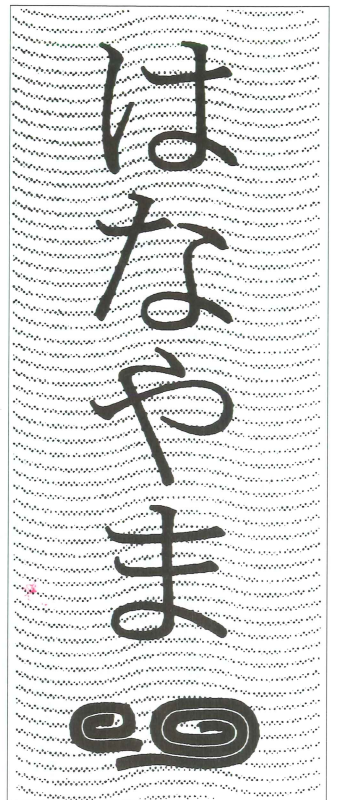


平成 24 年度 通常 総会

5月12日に開催

会場は仙台市福祉プラザ



発行
 社団法人
宮城県芸術協会
 (郵便番号 980-0102)
 仙台市青葉区二日町16-1
 二日町東急ビル5-B
 電話 (022) 261-7055
 F A X (022) 214-5184
 E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
 編集 小山喜三郎

平成二十四年度の社団法人宮城県芸術協会通常総会は、五月十二日午後二時四十分から仙台市青葉区五橋の市福祉プラザふれあいホールで開催される。主な議題は平成二十三年度事業と決算の報告、平成二十四年度事業計画案と予算案、二年ごとに実施される役員改選。総会の前に一月に河北文化賞を受賞した結城登美雄氏による記念講演がある。

公益法人移行視野に新規事業

絵画・彫刻・写真で公募展

平成二十四年度の総会に提案される事業計画案は、平成二十五年度からの公益社団法人移行を視野に入れた新規事業と、東日本大震災復興支援事業が中心となっている。

新規事業では絵画、彫刻、

写真の展示三部門が公募展を計画。芸術祭と併催の形で九月二十六日から十月十日まで、芸術祭展示会場や県美術館で実施する。このほか書道

役員改選も重要議題

通常総会では役員改選も重要議題となる。

これまで理事会などで二十五年度からの公益法人移行後の定款を検討。その中で

津波被災地の小・中学校への校名板・校歌額の寄贈を計画。彫刻部がチャリティー小品展、写真部がポストカードのチャリティー販売、音楽部(洋楽)はふれあいコンサートなどをそれぞれ実施する。

記念講演は結城登美雄氏の「東北の地域文化について」

五月十二日の通常総会に先立ち、午後一時三十分から仙台在住の民俗研究家で地域づくりプロデューサーの結城登美雄氏による「東北の地域文化について」と題する約一時間の記念講演がある。

結城氏は「地元学」を提唱して東北各地の地域おこしに携わり、「東北の地域づくり活動を先導し、地域振興に貢献した」として、平成23年度の河北文化賞を受賞している。

今回選出される新役員は、現法人と新法人とを跨いで二年の任期を務めることが決まっている。

今年は書道・工芸・写真

大邱との交流展

6月12日～17日
宮城県美術館で

平成六年から当協会と交流を続けている韓国芸術文化団体総連合会大邱広域市連合会との交流展「仙台・大邱国際芸術交流展―書道・工芸・写真―」が六月十二日から十七日の会期で、宮城県美術館・県民ギャラリーで開催される。両団体は、仙台、大邱と隔年持ち回りで各事業を開いており、本展は平成二十二年

に大邱で開催した作品展を受けて開催する。大邱側の要望で今回、新たに写真部門が加わった。

本来は昨年行う予定であったが、東日本大震災のため本年度に延期となった。両団体で計二百点程度の出品が見込まれている。開場式は六月十二日、一般公開は十三日から十七日の午前十時から午後五時。入場無料。

公益法人移行へ準備着々

―八月頃に申請決議の臨時総会―

小山理事長以下十人で構成される公益社団法人移行準備委員会は、14回に及ぶ会議を開き、これまでに定款変更の骨子案、公益目的事業の設定及び資産の振り分けなどについて一応の検討を終了した。

定款の主な変更点として、新法人には名誉会長、参与、顧問、評議員などは置かない方向とした。公益目的事業については、芸術祭など原則としてこれまでの事業を公益性をさらに高めながら継続していくこととした。資産については、財務内容の見直しで保有制限を超える資産が生じた場合は、基本財産への組み入れも検討することとした。

定款の変更案は現在、監督官庁である宮城県教育委員会の事前指導を受けている段階で、公益認定申請書類については会計顧問の税理士法人に委託して目下作成中である。当初は五月開催の通常総会で公益法人移行申請決議を行う予定であった。しかし、事

前指導や書類作成にさらに時間を要することが判明したため、全申請書類が整う八月下旬頃を目途に申請決議のための臨時総会を開催。九月中旬頃、正式な申請書類を県に提出することとなった。県の公益認定委員会で認定されれば、平成二十五年四月一日から公益社団法人に移行できる。

「継承する力―第一部―」好評博したギャラリートーク

当協会とカメイ美術館の共催による絵画作品展が一月三十一日から三月十一日までカメイ美術館で開かれた。テーマは「継承する力」。これは

相互交流を通じて芸術文化の向上と振興を図る東北・北海道芸術文化団体協議会は、今年度から事務局を北海道から秋田県に移し、六月十三日に秋田市で平成24年度総会を

秋田で絵画・写真展

東北・北海道芸文協

宮城県芸術祭絵画展で現在審査員を務める会員の自薦作品展で、今回は第一部として二十七人の作品が展示された。本年度以降引き続き第二部、第三部が開催される。入場者は一、七五五人で、例年になく多く、中でも二月二十五日開催の出展作家自身によるギャラリートークには八十人ほどが詰めかけ、大変好評であった。写真。



地元音楽グループとのコラボも

ミュージックフェスタ in 岩沼成功裡に終了

当協会と岩沼市、岩沼市文化協会、(財)宮城県文化振興財団の共催による「み

開く。またこれに合わせて、社団法人秋田県芸術文化協会との共催による「東北・北海道交流絵画・写真展」が六月十三日から十七日まで秋田県立美術館(秋田市)で開催される。本県からは会員の作品が絵画と書、それぞれ五点左右ずつ出品される予定である。

た。本年度以降引き続き第二部、第三部が開催される。入場者は一、七五五人で、例年になく多く、中でも二月二十五日開催の出展作家自身によるギャラリートークには八十人ほどが詰めかけ、大変好評であった。写真。

第32回ピアノコンクール
知事賞には峯佳織さん

三十二回目を迎えた当協会主催の音楽コンクールピアノ部門本選は、三月二十日に仙台市戦災復興記念館で行われた。二月十九日の予選には百十八人が参加し、初級十五人、中級十六人、上級八人の計三十九人が本選に進んだ。審査の結果、特別賞では、最高賞の宮城県知事賞に上級の峯佳織さん、仙台市長賞に中級の永倉茉弥さん、河北新報社賞に初級の高瀬彩音さんがそれぞれ選ばれた。各級の受賞者は次の通り(敬称略)。

【初級】
最優秀賞 桑折友菜(仙台市立八幡小3年)、高瀬彩音(仙台市立黒松小3年)、優秀賞 木村美心(石巻市立開北小4年)、奨励賞 西名悠祐(仙台市立吉成小3年)

【中級】
最優秀賞 永倉茉弥(仙台市立黒松小3年)、優秀賞 伊藤瑞起(仙台市立袋原小4年)、伊藤南々(仙台市立館小5年)、奨励賞 鈴木亜実(仙台市立東仙台小5年)、亀山歩(塩釜市立第二小6年)

【上級】
最優秀賞 峯佳織(仙台市立蒲町小6年)、優秀賞 薄木葵(仙台市立広瀬中2年)、奨励賞 吉田伊里(仙台市立第一中2年)

りんごの花咲く津軽富士へ

絵画部スケッチ研修会

今年のスケッチ研修会は弘前の岩木山麓に決まった。残雪の津軽富士、りんごの花や早苗田の新緑が美しい風景の中でスケッチが楽しめる。絵画部以外の会員も参加できるので、初めての方も含め多数の参加が期待されている。

募集要項

日時：5月19日(土)・20日(日)
 宿泊地：百沢温泉いわき荘
 参加費：二万五千元
 募集人員：四十人(定員になりしだい締め切り)
 申込先：芸術協会事務局(02

杜の都大茶会は

5月26・27日

当協会と河北新報社が主催する第十六回杜の都大茶会は、今年も勾当台公園を会場に、五月二十六日(土)と二十七日(日)に開催される。今回は「一服のもてなしに宿る」ひともの「こころ」と銘打って、芸協茶道部加盟の十三流派が七つの茶席でポイント前を披露する。茶券は二席

212617055) 日程

5月19日(土) 8時20分仙台駅西口バスプール集合→仙台宮城IC→大鰐IC→13時弘前市りんご公園(昼食・スケッチ)
 ↓岩木山神社→常盤野(スケッチ)
 ↓16時30分ホテル到着
 5月20日(日) 9時ホテル出発→津軽岩木スカイライン→岩木山八合目(スケッチ・散策)→野市里(スケッチ・買物)
 ↓13時プリンスさくら亭(昼食・スケッチ鑑賞会)→大鰐弘前IC→19時頃仙台駅到着・解散

分が前売りで千円、当日券千二百円。一席分は当日券七百円。流派ごとの日程は次の通り。

◇五月二十六日(土) 〓裏千家、江戸千家、煎茶道三彩流、宗徧流、大日本茶道学会、煎茶文雅静庵流、武者小路千家
 ◇五月二十七日(日) 〓表千家、石州清水流、織田流煎茶道、玉川遠州流、煎茶道清泉幽茗流、遠州流茶道

新入会員名簿 (新入会員の住所・電話番号は事務局までお問い合わせ下さい)

部門	氏名(本名)	住所	部門	氏名(本名)	住所	
【絵画部】 (日本画)	涼子	仙台市泉区	【文芸部】 (短歌)	児吉	仙台市青葉区	
	静子	仙台市太白区		玉田	仙台市宮城野区	
	野村	松島町		沼安	仙台市青葉区	
	萩野	塩釜市		達朝	松島町	
(洋画)	木井	仙台市泉区	(俳句)	篠沢	仙台市青葉区	
	渡井	仙台市泉区		山間	多賀城市	
	小堀	仙台市泉区		赤間	多賀城市	
	人見	仙台市泉区		赤藤	仙台市太白区	
【工芸部】 (陶芸)	明田	白石市	(川柳)	藤憲	美里町	
	鈴木	大河原町		鈴木	柴田町	
	池上	仙台市太白区		鈴木	大河原町	
	太田	名取市		し	白石市	
(木竹芸)	久子	仙台市太白区	【茶道部】 (表千家)	相澤	仙台市太白区	
	地昭	仙台市泉区		麻本	仙台市泉区	
	藤昌	仙台市泉区		川村	利府町	
	吉田	仙台市太白区		佐藤	仙台市青葉区	
【書道部】	丸山	蔵王町	(煎茶三彩流)	鈴木	塩釜市	
	佐藤	富谷町		松本	仙台市宮城野区	
	尾中	石巻市		渡野	仙台市青葉区	
	島成	(隆廣)		今野	塩釜市	
【華道部】 (小原流)	琳(裕子)	塩釜市	(宗徧流)	佐藤	岩沼市	
	夏(みつ子)	仙台市青葉区		坂本	仙台市太白区	
	華(富起子)	亶理町		佐藤	富谷町	
	峰(ゆり子)	仙台市太白区		福山	仙台市青葉区	
(草月流)	純(純子)	仙台市泉区	(織田流煎茶道)	岡宗	仙台市泉区	
	紅(まきえ)	仙台市泉区		藤南	仙台市泉区	
	園(まきえ)	仙台市泉区		佐藤	仙台市若林区	
	石(敬子)	仙台市若林区		森南	仙台市青葉区	
【音楽部】 (洋楽)	治一	仙台市太白区	(武者小路千家)	場美	仙台市青葉区	
	純一	仙台市若林区		大菊	石巻市	
	織哉	仙台市泉区		阿部	仙台市青葉区	
	昌美	石巻市		原純	大崎市	
【文芸部】 (短歌)	大友	仙台市太白区	(煎茶道清泉幽茗流)	阿古	横浜市	
	井京	塩釜市		【写真部】	木純	村田町
	藤正	塩釜市			佐々	大河原町
	遠正	仙台市太白区			木藤	仙台市宮城野区

事務局日誌

会務報告

後援

☆翠葉会書展

2月12日～17日

東北電力グリーンプラザ

☆山形栄一墨彩画展

3月16日～25日

美里町近代文学館町民ギャラリー

☆仙台ピアノデュオコンサート

みんなでピアノデュオコンサート

3月21日

イズミティ21小ホール

☆東日本大震災復興支援公演「ア

テルイ」十三の砂山」遠野物

語」ほか

4月11日～25年1月3日

たざわこ芸術村わらび劇場

☆SO23みやぎの書60人展

4月27日～5月2日

せんだいメディアアテーク

☆第58回全国公募東北書道展

5月18日～23日

せんだいメディアアテーク

☆並木路げやき展'12

5月25日～30日

せんだいメディアアテーク

☆第35回白亜会東北支部展

5月25日～30日

せんだいメディアアテーク

☆生田流 箏曲演奏会

5月26日

電力ホール

☆学院大&宮教大マンドリンコン

サート

5月26日

イズミティ21

☆第64回三軌展東北展

6月15日～19日

せんだいメディアアテーク

☆第58回全国公募函南書道展

6月22日～27日

せんだいメディアアテーク

☆第39回仙台女流美術協会展

6月22日～27日

せんだいメディアアテーク

☆第100回日本水彩仙台展・同時開

催・第48回宮城水彩展

6月30日～7月4日

せんだいメディアアテーク

☆第2回日本短歌大会(東北)

7月1日

仙台市青年文化センター

☆第31回板橋健独唱会「声による

表現の可能性を求めて」

7月27日

仙台市戦災復興記念館

☆玄穹社展併催第4回玄穹社学生展

8月3日～6日

せんだいメディアアテーク

☆小熊由里子室内楽コンサート

7月7日

「大らかな風」デュオ&トリオ

の夕べ」

仙台市戦災復興記念館

☆第59回河北書道展

8月16日～21日

藤崎本館7階催事場

☆第1回全国やきものフェア in み

やぎ

8月18日～22日

夢メッセみやぎ展示場

会員の入賞・入選など

◇第47回日春展

「日本画」▽新会員「佐藤朱希」

入選「天笠慶子、荒井静子、奥山

和子、菅井糸子」

受贈書

滝俳句集(菅原関也)、俳誌「滝」

虚実潺潺セレクション鯨のこゑ

(菅原関也)、合同歌集東日本大

震災の歌(宮城県歌人協会)、鯨

の耳「滝」の俳句を中心に(菅

原関也)、露律(柏原眠雨)、AV

EC LABRISSE DELA

SEINE(三浦通正)

謹弔

絵画部(洋画) 佐藤とも子殿

11月23日

書道部 山口桂月殿

2月1日

賛助 阿部良治殿

3月1日

文芸部(川柳) 小野寺令子殿

3月19日

華道部(池坊) 佐藤祐峰殿

4月2日

絵画部(洋画) 幸脇幸子殿

4月2日

けやきの譜

2年ぶりに仙台の夜桜を見

た。昨年も咲いていたはずだ

が、見物に出かけた記憶はな

かったので、とてもそんな気

にはならなかったであろう。

久しぶりに眺めた桜は美しく

復興元年の象徴として、見る

人に「日常」を感じさせる存

在ではないかと、つくづく思

わせられた▼復興庁が、震災

から11カ月後の2月10日に

ようやく発足。復興への態勢

が整ったが、最大の課題であ

る瓦礫の処理がなかなか進ま

ない▼全国的に協力の声があ

がったものの、いざとなると

放射性物質の残量に対する住

民の反対から、しり込みする

自治体が続出する羽目に。幼

児を抱える母親らの不安は理

解できるが、一種ヒステリッ

クな対応には違和感も覚える

▼この間、宮城県芸協の会員

をはじめ、文学・芸術・スポー

ツなど各分野の活動は目覚ま

しいものがあり、被災者に寄

り添う形で癒やしの種をまき

続けてきた、と思う。この先も、

息の長い活動が望まれる。(恂)

事務局から

◆会費納入のお願い

新年度を迎えましたので、平成二十四年度会費の納入をお願い致します。

自動振替の会員は、今年5月1日が引き落とし日となりますので、指定口座をご確認の上、お手配願います。

郵便振替をご利用の会員は、同封の振替用紙で5月三十一日までに納入願います。

なお、郵便振替の方は、事務処理上、できる限り自動振替(手数料は芸協負担)

◆会費名簿発行について

へん切り替えをお願い致します。

隔年発行の当協会会員名簿は、六月三十日付けで「平成二十四年版」が発行されます。記載事項に変更のある会員及びプライバシー保護の観点から、住所や電話番号掲載の辞退をご希望の会員は、五月末日までに事務局(電話022-261-7055)までご連絡願います。辞退者は所属部門と氏名のみ掲載となります。